**第19回に向けて。サバニ帆漕レース意見交換会　議事録**

●日付：平成２９年１１月２４日（金）

●時間：１９時～２1時

●場所：那覇商工会議所２Ｆホール

●参加チーム：　７チーム　９名

●実行委員会：５名（敬称略）添畑薫・塩澤朋子・中村悟・谷口洋基・高江洲英毅

高江洲（実行委員会）：

只今より第19回サバニ帆漕レースに向けた意見交換会を始めます。

まず産業振興課課長中村悟よりご挨拶申し上げます。

中村課長（実行委員会）：

今年のレースは過去に例を見ない内容で、36艇中3チームしかゴールしないレースでした。

実行委員会としても、多々反省すべき点がありますので、今日は皆様のご意見を拝聴し、

よりよいレースへ繋げていければと思っています。本日はよろしくお願いいたします。

**【議題1】　2018年度　第19回開催日時について**

（実行委員会）：

まず御報告があります。来年の第19回サバニ帆漕レースの日程は、平成30年6月23日（土）マリリンカップ、24（日）本レースとしたいと思います。

潮の関係や梅雨明け時期を考えての日程設定ですが、何かあれば挙手をお願いします。

次の週だと大潮になり、ハテ島とナガンヌの潮が速いなど考慮して回避しました。また７月になると座間味村が

観光シーズンに入り、受入れなどが厳しくなることもあり、この日程に決定いたしました。

**【議題2】　那覇港フィニッシュ地点について**

（実行委員会）：那覇港をフィニッシュ地点にしたのは、まず沖縄県内にサバニや歴史を認知させたいという広報的な意味があります。新聞社を呼んでも座間味まで来るのは厳しい。那覇港であれば取材に来てもらい易いということ、また参加選手のかねてからの希望である家族や友人にも応援に来て見てもらいたいということから、今年この航路を使用している船舶や会社から同意のハンコをもらい実施できることとなりました。

しかし、レースの中で危険だったとの意見もありましたので、実行委員会でも協議し再考したいと思います。そのうえで、最終的に来年4月までには、決定したいと思っております。

**【議題3】　レース直前の気象判断について**

（実行委員会）：今年は気象予報士より「台風に発達するのはレース後、夜間になる。それからは危ない」との情報をもらっていましたが、予想より発達が早まりレース途中に台風になってしまった。

反省材料であるが、気象庁の情報でも同様の予報だったこともあり、予測できない部分でもありました。

しかしながら安全第一で延期や中止の判断をしていきたいと考えています。今年はとにかく異常な事態だったので、残念ながら、あのような結果になってしまったのですが、船の移動やパーティの準備など何百万単位の金額が飛んでしまうので、来年からは気象も含めて様々な判断を、早めの判断でいきたいと思っております。

（参加者）：

今まで会場に気象予報士がいたじゃないですか？その人がレースするかしないかを決めるのですか？

その後コースを短縮するのかしないのか。

その時に、凡その判断基準・目安というものはあるのか？自分たちでは行けると思っていたのにとか、このメンバーでは行けないなとか　大体こんな感じなら止めようといった目安のようなものは・・・？

（実行委員会）：

我々としては、沢山の人に海を渡っていただきたいという思いはあります。トップチームを基準にしてしまうと、それ以下の方たちにとっては危険性が高くなるので難しいところではあるが。今年の例が実はそうだったんですが。

ナガンヌの横を通っている時、トップのチームは普通に帆走していました。ところがチービシの辺りで風が前に回って強くなってしまって。真ん中より後ろの方のチームの状況を見て、ハテ島で一旦ゴールにしましょうねと考えたのです。

風速や風向といった様々な判断基準もあります。

（参加者）

それで大体の目安的なものは？

（実行委員会）：

言いたいのですが、2・3時間で変わるような気象であれば行く前に気象予報士は分かるはず…。

（参加者）：

ゴールのレギュレーションの中に「1艇でもゴールすれば締結する」というのがあって、当初のコンセプトに対して運営をどうするか？そのコンセプトをどうするのか？

（実行委員会）：変えていかなければいけないと考えております。この会ではそういう意見を聞きたいのです。来年4月を目安に、我々の中で、この議題はよく練って発表したいと思います。ハテ島を半分以上の船が通る、というのは一つの判断基準にはなるとは思います。

**【議題4】　コース短縮について（中間ポイントの設置について）**

（実行委員会）：現在リサーチ中ですが、ハテ島の沖にゲートを作り、実行委員会の運営船を配置し、海況が悪ければここをフィニッシュにするという案が出ています。ゴールできなくても途中経過順位を出すことができる為でもあります。

ナガンヌも途中フィニッシュの候補でしたが、この付近のサンゴ礁の内側はすごい表層流が出ているため、近づくと非常に危険です。そこでハテ島のポイントになりました。途中フィニッシュにタイムリミットを設定して、時間内に通過できなかったチームはレースを中止してもらう（リタイア）していただきたいと考えています。

（参加者）：

タイムリミットは具体的に、どこで何時頃ってありますか？

（実行委員会）：

ハテ島でとりあえず最初のゲート、4/5くらいでしょうか。距離から計算するのか昨年のフィニッシュラインから逆算するのか、まだ検討中です。

（参加者）：

例えばギシップ越えて、ハテ島越えてチービシ沖を越えて那覇って、大体4セクションで見た時に速いチームは1時間位で行っちゃうじゃないですか。倍かかって2セクション目を2時間かかって行けたなら多分4時間で行けるだろう。それが例えば4時間かかっちゃったら8時間。なんとなくだが。決められるものなのかなぁと。

（実行委員会）：

9時にスタートして、遅い方をしておいて3時間というのはどうでしょうか？皆さんのご意見が欲しい。ハテ島3時間はどうでしょう？

（参加者）：過去の実績は？

（実行委員会）：

ハテ島は記録を取っていないのですが、３時間と仮に決めておいて、来年見てみてアジャストすればどうだろう？

（参加者）：

実際に切るかどうかは別にして「目安３時間で通過してね」みたいな…。

（実行委員会）：

来年4月までには、何時間ときちんと決めておきます。

**【議題5】　安全管理面での改善策について**

（実行委員会）：

携帯電波を利用して、ポジションをGPSで画面上に表すことができるシステムがあります。我々だけでなく参加者の友人や家族も船の位置を確実に把握できる。その情報を残しておくこともできる。但しナガンヌのこの辺りには携帯の電波が届かない場所があるので、携帯電話の電波を利用しない他のシステムを探しているのですが…。

「みちびき」という衛星があるが、ダイレクトにみちびきとGPSポジションのやりとりができれば、誤差15㎝程度の精度の情報を得られ、途切れることなく利用できます。安全面を考え、是非取り入れたいと考え只今研究中です。

今年の反省点として皆さんの位置が分からなくなる……皆さん電話にも出ていただけないので、こちらが積極的に選手のポジションを把握できるようにしたいのです。来年4月までに予算を検討して……と考えている。もう少し警戒船など運営船を増やして、安全を確認したいと考えております。伴走船の船長なり責任者なりに、こういった会に参加してもらい、一つのチームとして考えていただき、すべきことの意思の確認をしていただきたいのです。

**【議題6】　書類の提出期限について**

（実行委員会）：

毎年だが申込期限が守られていない状況があります。保険加入の問題もありますので申し込みの期日は厳守でお願いたします。保険の申し込みは個人一人一人の名前が必要なため保険会社に出すリミットを超えた、遅れた人は出場ができませんので厳守でよろしくお願いいたします。

提出が遅れたチームは出艇料の値上げも考えています。

**【議題7】　島内レース時の参加者を本島に送る方法について**

（実行委員会）：

島内レースになった場合、毎年参加者400名ほどいるが6月の開催なら高速船が2便だから臨時便を出すこともできる。前もってフェリー400名分を押さえておいて一般100名でブロックして運ぶということも考えている。

今年は7月開催だったので、すでに3便稼働していたので、臨時便が出せなかったのですが・・・。

**（その他　質疑応答）**

**参加費の値上げについて**

（実行委員会）

安全面を考えて運営船を増やしたいのですが、予算が無くて困っています。まだ、ご提案の段階だが参加料を次回から少し上げさせていただこうかと考えております。2007年から据え置きの出艇料10,000円と一人3,000円、その他スポンサーなどからの協賛金などでやりくりしていますが、ぎりぎりです。当初よりも参加艇が増え必要経費が増えています。安全のために運営船も増やさないといけないと思いながら…。ご意見をいただきたい。

（参加者）：

必要なものは集めないといけないが、その内訳について……

（実行委員会）：

艇数が増えるとトラッキングの回数も増える、それだけで100万や200万はかかってしまいます。もちろん参加艇数が増えるのはありがたいことです…が。我々としてもスポンサーを探しています。出艇料は出来れば据え置きにしたいのですが。値上げの可能性はまだ残ります。皆さまの負担は押さえたいのですが、1,000円程度は上げさせていただきたいと思っています。

（参加者）：

一艇1,000円？一人1,000円？

（実行委員会）：

一人1,000円。出艇料は据え置きで。東京マラソンは一人4万円取っている。それも抽選が当たった人が4万円で、外れたけども出たい人は30万円で出られる。だから何億のお金が動いている。それと比較する訳ではないが、安全確保のために必要なお金はある程度、皆さんで負担していただきたいのです。

（参加者）：

必要なものはしょうがないですよね。

（実行委員会）：

スポンサーからの金額は言えませんが、皆さんの参加料がどういったものに役立っているかのご説明はさせていただく。ボランティアもウェルカムです。いつも人手が足りなくて困っています。延べにするとかなりの人数が動いていて…ボランティアの人たちのおかげで、ずいぶんと助かっている。

あと2回で20回。そこまでは達成したい。とはいえ安全面だけは欠かせないので。

**スタートグリットはどうやって決めるのか？**

（実行委員会）：

今回3チームしかゴールしていないこともあって、今回の順位と第17回の順位を基礎にして考えていこうかと思っています。先ほどの締切り問題と繋がるが、申し込み期限を過ぎたらスタート順位を後ろに回すという案が出ています。

**マリリンカップについて。乗船可能人数とか詳しいことが規約に無いが。**

（実行委員会）

特に定めていない。当初は12名だったが、沢山の人に海を渡ることを楽しんでもらえるように、制限をなくしました。サポーターや仲間の方にも楽しんでもらえるように、お遊び感覚で乗っていただくという感じで。皆さんが熱心に参加してくれて、ちゃんとしたレースになってきました。緩めのレギュレーションを作りましょう。

**参加艇数について**

（参加者）：今、大体40艇くらいで推移しているが50・60と増えることは喜ばしい？ですか？

50艇になったら抽選式にするとかはありませんか？

（実行委員会）：それは、もちろんうれしいです。

今のところは。沢山の方に海を渡っていただきたい。古座間味は歴史上米軍が最初に上陸したところ。そこから沖縄本島に攻めてきて多くの犠牲者が出ました。犠牲者は未だに沢山沈んでいると思う。今の平和な時代に沢山の人たちがあの海を渡っていくというところに、沖縄でやる大きな意味があると我々は思っています。増えれば増えた時に

リミットを決めずにやっていければと思う。もしクラス分けをするとしたら、ハテ島までのレースでもいい訳だから。今のところは那覇をゴールにしておいて、将来的にスムーズに回らなくなったらその時に一緒に考えましょう。それでいいですよね？

一同：異議なし。

（参加者）：**今年、前島を越えてから大きく南へ進路を取ってそこから北に上がろうとする艇もあったが、そういう場合目安地点を通過するにはかなり距離がありますよね？**

（実行委員会）：

ここは完全にゲート。タイムリミットを過ぎた船はここから曳航してくださいと。レースが中止になる場合に備えて、トップの通過から最後までは、ここで順位を取っておく。安全面とレースを成立させるための方策です。

（参加者）：

ゲートの広さはある程度……

（実行委員会）：

５０メートルとか……こっちから見えないといけないので。

（参加者）：

あんまり狭いと集中した場合危険になる。

（実行委員会）：

そう、だからある程度必要。だけども我々としてはどの船かを把握したい。広い方がいいけども船を視認できるように……。艇名がはっきり視認できるようにしてほしいというのは、こういう理由からも大事なことです。他に何か？

（参加者）：この件は分かりました。

**布の面積の計算方法は最終的にどう？**

（実行委員会）：全部付けた時の和になりました。

（参加者）：

2枚並べて？大体この中に納まるように？

（実行委員会）：

そう。もう一度ちゃんと図で示すようにしましょう。去年海想さんと打合わせし判断しましたが…。

（参加者）：

**トップチームと最下位は3時間くらい開いているが、これを圧縮するようなレギュレーションルールへの変更はあり得るか？トップチームを遅くするとか。できるだけ団子状態を避けるような・・・。**

（実行委員会）：

そうするとレースにならないでしょう。努力している人だからこそ前に行ける訳で。イベントにしてしまうとこんなに熱心に練習しないし新艇も作らない。立ち上げの時には船からエンジンを下ろしてやればいいやというところから始まったが、やはり競争心理が高まって…当時3人くらいしかいない船大工に頼んだら「あんたらのお陰で二十何年ぶりに帆かけサバニを作ったよ」と言ってもらえた。船大工の技術を含め文化継承も目標にしていたので、レースにしたという経緯がある。トップチームは練習をしているから速いのです。

（参加者）：

レギュレーションルールで調整できると思うがその予定は今のところない？

（実行委員会）：

今のところは考えない方がいいかと思っている。

今のところは那覇をゴールにしておいて、将来的にスムーズに回らなくなったら、その時に一緒に考えましょう。それでいいですよね？

一同：異議なし

（実行委員会）：

皆さんご参加ありがとうございました。第19回サバニ帆漕レース意見交換会を終了いたします。後日、今回の議事録はホームページにアップしますのでご確認よろしくお願いします。

　【閉会】